

第2回碧南市まなびさぼーと資金支給審査会次第

と き 令和3年10月20日（水）

午前10時～

ところ 碧南市役所 会議室1

1 開会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

(1) 協議事項

令和3年度碧南市まなびさぼーと中学生の認定について

資料1

(2) 報告事項

令和3年度碧南市まなびさぼーと中学生の表彰式について

資料2

5 その他

6 閉会

令和3年度碧南市まなびさぼーと資金支給審査会委員名簿

氏名	役職名	選出基準	備考
鈴木 尚哉	碧南高等学校長	識見を有する者	会長
鈴木 政枝	碧南市主任児童委員代表	識見を有する者	
脇門 美佐	中央中学校PTA副会長	識見を有する者	
山田 忍	西端中学校長	中学校長	副会長
加藤 智子	中央中学校長	中学校長	
小澤 徹	学校教育課長	識見を有する者	

- ・碧南市まなびさぼーと資金支給に関する条例第10条第2項の規定により、教育委員会が委員を任命することとなっている。
- ・碧南市まなびさぼーと資金支給に関する条例第11条第2項の規定により、教育委員会が委員のうちから会長を任命することとなっている。
- ・任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

碧南市まなびさぼーと中学生の募集と選考について

碧南市教育委員会

1 趣旨

碧南市まなびさぼーと資金の支給対象者（さぼーと中学生）を選出するため、中学生を対象に科学に関する研究作品を募集し、その中から優秀な作品を選考して、碧南市まなびさぼーと資金支給審査会に諮る。

2 募集要領

- (1) 募集内容は「科学に関する研究」とし、その内容は、
 - A 実験を中心に追究したもの、
 - B 観察・採集を中心に追究したもの、
 - C 調べ学習を中心に追究したもの とする。
- (2) 募集は年1回とし、夏休みに個人研究もしくは共同研究で募集する。
- (3) 対象は市内の中学生とする。
- (4) A4レポート用紙10枚程度とする。なお、本文中に貼付する表や写真などの資料は枚数に含む。作品がある場合は、一緒に提出する。
- (5) 表紙に、研究題名（部門）、学校名、学年、組、氏名を明記する。
- (6) 各学校で取りまとめ教育委員会学校教育課へ提出する。なお、受付期間及び提出期限は、募集のチラシなどで別途指示する。

3 審査

- (1) 各学校代表の理科教諭で組織する選考委員会を設置し、応募作品の審査を行う。
- (2) 選考委員会において、下記のとおり優秀作品を選出し、碧南市まなびさぼーと資金支給審査会に諮る。

ア 最優秀賞	1点	(1名又は1団体につき20,000円)
イ 優秀賞	2点以内	(1名又は1団体につき10,000円)
ウ 準優秀賞	2点以内	(1名又は1団体につき5,000円)
エ 努力賞	15点以内	(1名又は1団体につき2,000円)
オ きらり賞	20点以内	(1名又は1団体につき1,000円)
- (3) 選考委員会の議事内容

優秀作品の選考のほかに、作品の募集・審査についての打合せ、次年度に向けての打合せ等

4 表彰

審査の結果により、優秀な研究をした者またはグループの表彰を行う。

- (1) 日時 令和3年11月16日(火)午後4時15分
- (2) 場所 会議室1(市役所2階)
- (3) 内容 表彰式(準優秀賞までの入賞者のみ)

※努力賞及びきらり賞の表彰は各学校において行う。

5 選考委員

委員長 ○杉浦 道文(中央小学校教頭)

委員 □上辻 将(新川中学校) □石川 貴之(中央中学校)

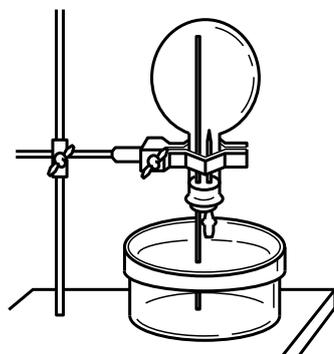
○安藤 彩(南中学校) □藤浦友梨香(東中学校)

○浅井 真早(西端中学校) ※○:継続、□:新規

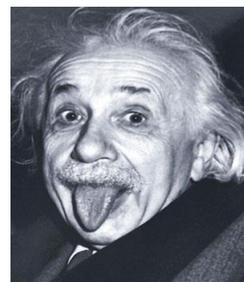
科学コンクール

募集のお知らせ

継続研究している個人やグループは、ぜひ応募してみよう！



『知識より
想像力』



アルベルト・アインシュタイン

【募集要領】

1 内容

科学に関する研究

【部門】 A：実験を中心に追究したもの

B：観察・採集を中心に追究したもの

C：調べ学習を中心に追究したもの

2 対象者

碧南市内の中学生、個人又はグループ

3 受付

令和3年9月1日（水）

4 提出先

理科担当の先生まで

5 形式

A4 10枚程度のレポート形式

（写真・資料は、枚数に含む）

※ 作品がある場合は、一緒に提出

※ 表紙に、研究題名（部門）・学校名・学年・組・氏名を明記

※ 模造紙は不可

6 その他

レポートは返却しません。碧南市の中学生の教育のために使用させていただきます。



【表彰】 審査により、以下の賞を選出する。

★最優秀賞 2万円（1点）

★優秀賞 1万円（2点以内）

★準優秀賞 5千円（2点以内）

★努力賞 2千円（15点以内）

★きらり賞 千円（20点以内）

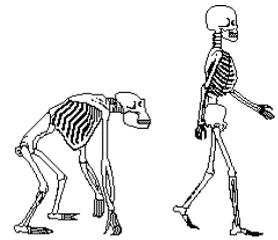
■理科研究の進め方■

1 テーマを考える

- ① 理科に関係しているテーマを選ぶ。
- ② 自分の生活の中から見つけたテーマがよい。
- ③ いろいろな実験や観察ができそうなテーマがよい。
- ④ ある程度、疑問の答えが予想できる（仮説が立てられる）テーマがよい。
- ⑤ よいテーマを見つけることが、よい研究になるポイントである。

2 テーマについて事前調査をする

- ① 家の人、専門家などに聞く。
- ② 本で調べる。
- ③ インターネットで調べる。
- ④ 簡単な実験を試してみる



3 テーマを決定し、仮説を立てる

- ① 事前調査で解決してしまった場合は、「1 テーマを考える」に戻る。
- ② 事前調査をしているときに、新たに調べたいテーマが見つかった場合は、テーマを変更する。
- ③ 事前調査でテーマを明確にし、調べるポイントを絞る。
- ④ 自分なりの仮説を立てる。

4 追究する

- ① 仮説を確かめる実験方法を考え、実験する。
- ② 実験方法や測定方法など工夫し、実験を進める。
- ③ 実験を進める中で、仮説を訂正しながら、新たな実験方法を考え、実験する。また、新たな疑問が生じたときには、その都度、仮説を立て、実験を進める。（追究が深まるほどよい研究になる）
- ④ 実験の過程では、その都度、写真撮影をしておき、レポート作成のときに使用する。

5 研究のまとめのレポートを作成する

- ① これまでの優秀作品を参考にするとよい。（理科室の掲示板などに掲示してあります）
- ② 「■理科研究レポートの基本的なまとめ方■」（下記）を参考にする。
- ③ 見出しなど見やすいように、きれいに仕上げる。
- ④ 表や写真、グラフなどを使って分かりやすくする。
- ⑤ 家族や友達、先生に見てもらい、研究内容が分かりやすくまとまっているか確認し、わかりにくい箇所を訂正する。

■理科研究レポートの基本的なまとめ方■

以下のような順番でまとめていくと、すっきりまとまることが多い。しかし、必ずこれではいけないというわけではないので、自分で考えてまとめる。まとめ方がよくわからないときは、先生に聞くとよい。

1 研究の動機

どうしてこの研究を始めようと思ったのか、その理由を簡単に書く。

2 研究を始める前に

研究を始める前に、研究のヒントを得るため、事前調査を行う。

- (1) 家の人に聞く
- (2) 専門家に聞く
- (3) 本で調べる
- (4) インターネットで調べる
- (5) 自分たちで試してみる

3 研究の目的

研究の目的をはっきりさせ、科学的に追っていく。

4 研究の内容

- (1) 研究の仮説を立て、実験をし、その結果から1つずつ真実に迫っていく。
- (2) 結果のまとめ方は、表やグラフなどにし、わかりやすくする。
- (3) 実験の過程を写真で撮影しておき、レポートに貼りつけるとよい。

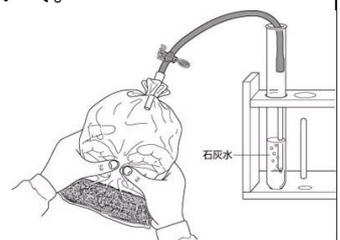
5 研究のまとめ

今までの研究をまとめ、研究の結論を出す。

※わかったこと、わからなかったことを明確にしておく。

6 おわりに

研究をやったの感想を簡単に書く。



【参考】過去の入選作品紹介 HP <http://www.city.hekinan.aichi.jp/kyouikuka/manabi/manabi.htm>

令和3年度 まなびさぽーと中学生の部選考委員会

(1) 選考委員について

- 委員長 ○杉浦 道文 (中央小学校教頭)
委員 □上辻 将 (新川中学校) □石川 貴之 (中央中学校)
○安藤 彩 (南 中学校) □藤浦友梨香 (東 中学校)
○浅井 真早 (西端中学校) ※○：継続、□：新規

(2) 第1回選考委員会 (募集・審査について)

- ・日時 令和3年6月16日 (水) 午後4時
- ・場所 教育委員会室
- ・内容 募集・審査について打合せ

(3) 第2回選考委員会 (優秀作品選考会)

- ・日時 令和3年9月17日 (金) 午後4時
- ・場所 教育委員会室
- ・内容 優秀作品の選考

(4) 第3回選考委員会 (努力賞、きらり賞選考会、表彰式に向けて)

- ・日時 令和3年10月1日 (水) 午後4時
- ・場所 教育委員会室
- ・内容 努力賞、きらり賞の作品選考
表彰式の打ち合わせ

(5) 表彰式

- ・日時 令和3年11月16日 (火) 午後4時15分
- ・場所 会議室1 (市役所2階)
- ・内容 表彰及び講評 (準優秀賞までの入賞者と保護者、所属校長)

(6) 第4回選考委員会 (次年度に向けて)

- ・日時 令和4年2月8日 (火) 午後4時15分
- ・場所 教育委員会室
- ・内容 本年度の反省と次年度に向けて

令和3年度 第2回まなびさばーと中学生の部選考委員会

令和3年 10月1日(金) 15:00～
碧南市役所 5階 教育委員会室

1 各校の応募状況

学校名	年度	部門	1年	2年	3年	合計
新川中	R3	A	99点 (99人)	79点 (79人)	93点 (93人)	271点 (271人)
		B	12点 (12人)	11点 (11人)	8点 (8人)	31点 (31人)
		C	21点 (21人)	21点 (21人)	22点 (22人)	64点 (64人)
		ものづくり	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)
	R2	A	0点 (人)	40点 (79人)	6点 (11人)	46点 (90人)
		B	0点 (人)	14点 (21人)	4点 (4人)	18点 (25人)
C		0点 (人)	25点 (33人)	16点 (21人)	41点 (54人)	
ものづくり		0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)	
中央中	R3	A	27点 (25人)	28点 (45人)	22点 (28人)	77点 (98人)
		B	4点 (4人)	10点 (4人)	4点 (4人)	18点 (12人)
		C	18点 (18人)	18点 (11人)	13点 (16人)	49点 (45人)
		ものづくり	点 (人)	点 (人)	点 (人)	0点 (0人)
	R2	A	10点 (15人)	2点 (4人)	1点 (1人)	13点 (20人)
		B	点 (人)	点 (人)	点 (人)	0点 (0人)
C		5点 (8人)	1点 (1人)	点 (人)	6点 (9人)	
ものづくり		点 (人)	点 (人)	点 (人)	0点 (0人)	
南中	R3	A	94点 (111人)	102点 (106人)	120点 (131人)	316点 (348人)
		B	14点 (16人)	9点 (5人)	10点 (11人)	33点 (32人)
		C	52点 (61人)	61点 (64人)	46点 (49人)	159点 (174人)
		ものづくり	点 (人)	点 (0人)	点 (人)	0点 (0人)
	R2	A	1点 (1人)	1点 (1人)	5点 (5人)	7点 (7人)
		B	1点 (1人)	点 (人)	点 (人)	1点 (1人)
C		2点 (4人)	2点 (2人)	2点 (2人)	6点 (8人)	
ものづくり		点 (人)	点 (人)	点 (人)	0点 (0人)	
東中	R3	A	77点 (77人)	45点 (87人)	112点 (72人)	234点 (236人)
		B	21点 (21人)	3点 (5人)	15点 (12人)	39点 (38人)
		C	25点 (25人)	17点 (25人)	30点 (48人)	72点 (98人)
		ものづくり	16点 (16人)	35点 (35人)	0点 (0人)	51点 (51人)
	R2	A	1点 (2人)	4点 (5人)	0点 (0人)	5点 (7人)
		B	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)
C		0点 (0人)	1点 (1人)	0点 (0人)	1点 (1人)	
ものづくり		0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)	
西端中	R3	A	39点 (46人)	51点 (51人)	38点 (41人)	128点 (138人)
		B	4点 (6人)	点 (人)	8点 (9人)	12点 (15人)
		C	10点 (10人)	19点 (19人)	23点 (23人)	52点 (52人)
		ものづくり	8点 (8人)	0点 (0人)	0点 (0人)	8点 (8人)
	R2	A	0点 (人)	1点 (1人)	7点 (10人)	8点 (11人)
		B	0点 (人)	1点 (1人)	1点 (2人)	2点 (3人)
C		1点 (1人)	0点 (人)	1点 (1人)	2点 (2人)	
ものづくり		0点 (0人)	1点 (1人)	0点 (0人)	1点 (1人)	
合計	R3	A	336点 (358人)	305点 (368人)	385点 (365人)	1026点 (1091人)
		B	55点 (59人)	33点 (25人)	45点 (44人)	133点 (128人)
		C	126点 (135人)	136点 (140人)	134点 (158人)	396点 (433人)
		ものづくり	24点 (24人)	35点 (35人)	0点 (0人)	59点 (59人)
		計	541点 (576人)	509点 (568人)	564点 (567人)	1614点 (1711人)
	R2	A	12点 (18人)	48点 (90人)	19点 (27人)	79点 (135人)
		B	1点 (1人)	15点 (22人)	5点 (6人)	21点 (29人)
		C	8点 (13人)	29点 (37人)	19点 (24人)	56点 (74人)
		ものづくり	0点 (0人)	1点 (1人)	0点 (0人)	1点 (1人)
		計	21点 (32人)	93点 (150人)	43点 (57人)	157点 (239人)

令和3年度 第19回まなびさぼーと中学生の部 入賞者一覧

1 最優秀賞（1点）

西端中	3年 鳥居頼人	アクアリウム環境に及ぼす光の色の影響	A
選考理由	<p>昨年度、飼育学習を行い、「生物が多いと水草や藻が成長した」、「水草がないと藻が大繁殖した」ことから生物と藻には深い関係があることを見出した。しかし、アクアリストにとって藻は見栄えが悪く、何とか藻をなくすことはできないものかという思いから、今年度の研究に至った。カラーフィルムを使用するなど条件を変え、水草や藻がどのように増えているのかを調べ、光の色のバランスが水草と藻の成長に深い関わりがあることを深く追求している。それらの実験結果を写真や表により、わかりやすくまとめているところは秀逸である。根気強く、継続的な実験を行う応募者の姿勢に魅力を感じる優秀な作品である。</p>		

2 優秀賞（該当なし）

3 準優秀賞（2点）

西端中	3年 鹿島未帆 1年 鹿島康平	メダカを探せ！	B
選考理由	<p>父親が何年も飼っていたメダカが全滅し、近くの川に採りに行こうと思っていたが、父から「自然のメダカは近くにはいない」と聞き、何とかメダカを探そうと矢作川周辺で広範囲にわたり生物調査を行った。採集できた生物を写真に撮り、名前も調べていくと外来種が多くいることが分かった。その地点で生息している生物から水質を調べ、環境を知ることができた。今回父親の言葉通り、自然のメダカの発見には至らなかったが、とても根気のいる調査をやり遂げた応募者の努力が素晴らしい。自然のメダカの発見のためにも、定点調査により季節による生物の変化や上流での採集を行い、更なる追求を期待したい。</p>		
東中	2年 尾崎有芽	庭の厄介者！謎の物体を探れ！	A
選考理由	<p>応募者は、庭に生えたイシクラゲの駆除に困っている祖母の役に立ちたいと思い、実験を行っている。特に雨が続くとさらに増えて困る。家にあるもので何とか駆除したいと思って研究を始めた。ところが雨のせいで増えているのではなく、膨らんで増えたかのように見えていることを発見した。また、除草剤を用いても効果がないことから、身近な物質で駆除できないかと考え、継続的に実験を行った。日常生活に役立つ実践になっている点が素晴らしい。今後も観察を続け、完全に駆除できるかどうか、また他の生物に悪影響はないかどうか、ぜひ、自分の目で確かめてほしい。</p>		

努力賞（12点）

学校名	学年	氏名	研究テーマ	研究内容
新川中	3	尾崎 明貴穂	家の庭にいる虫たちの図鑑	B
	2	渡辺 日和	ヨーグルトの蓋のはっ水効果について	A
	1	古井 桜介	バイバイ菌！	A
中央中	3	加藤 友依 野村彩乃	一周回って水がいい	A
	2	野口 良美	恐竜について	C
	1	三田 稀子	流せる＝溶けるじゃない！？～流せるウエットティッシュは溶けるのか？～	A
南 中	3	永坂 伊吹	ラジオからGAME音が出るナゾ？	A
	2	磯貝 大翔	新型コロナウイルスのワクチンは安全なの？	C
	1	鈴木 啓太 平岩 孝太 浅井 陽喜	浮く秘密	A
東 中	3	岡田 茉衣香	〇〇に電気は流れるのか	A
	1	松井 一眞	鶏の骨は酸性液体でとけるのか	A
西端中	2	杉浦 巧馬	線香花火の時間の研究	A

きらり賞（17点）

学校名	学年	氏名	研究テーマ	研究内容
新川中	2 ※	木村 遥仁 (東中1年 秋山 澄樹)	クーリングと水分補給による解熱の仕組みを考え熱中症予防と熱中症対策に繋ぐ	A
	1	門脇 紘	デンプン大百科	A
	1	浅井 開都	廃棄物低減の研究 ～鑄造廃棄砂での植物育成調査～	A
	1	南 湊太	僕の視界を晴らすには	A
中央中	3	中川 英美、 山田 唯依	どの消しゴムが1番使い勝手がいいの？	A
	2	深谷 莉世	豚汁はなぜ冷めにくいのか～豚汁って奥深い～	A

	1	角谷 千寿、 毛利 日向子	茶碗蒸しとマイタケ	A
南 中	2	倉田 藍	人間と何が違うの？不思議な猫の目	C
	1	石川 創也	マスク v s 飛沫 ～このご時世の謎～	A
	1	長田 歩実	三河湾のちりめんモンスターを探せ！！	B
東 中	3	高橋 香琳	多肉植物を使って植物の好きな色を調べる	B
	2	米津 衣吹	マニキュアについて～マニキュアを早く固める方法？！水との関係～	C
	1	前田 真人	行列のできる…かもしれないパンケーキカフェへの道	A
	1 ※	秋山 澄樹 (新川中2年 木村 遙仁)	クーリングと水分補給による解熱の仕組みを考え熱中症予防と熱中症対策に繋ぐ	A
	1	中村 英利 本多 祐一郎 森 陽翔	トカゲ・ヤモリの住みやすい環境について	A
西端中	1	大川 輝翔	ペットボトル水抜きオリンピック	A
	1	外崎 真帆	なぜ、かむの？	B
	1	鈴木 暁斗	菌を減らすための手の洗い方	A

※新川中と東中の生徒のグループであるため、それぞれの学校欄に同じ内容が掲載されています。

